

つくしんぼ

～第26号～

DPCホスピス支援の会だより
-ホスピスを市民の手で-

異常気象のせいでしょうか 秋があつという間に終わり 日一日と寒さが一段と増してきました。皆様いかがお過ごしでしょうか。お伺い申し上げます。

日頃 医療法人どちペインクリニックのホスピスを支援する市民の会の活動に深いご理解とご協力いただき 厚く御礼申し上げます。

先の総会で ホスピス市民開放講座を開設して「ピンチはチャンス」という演題のもとに 中澤孝次プロゴルファーに講演していただき あわせて中澤プロの親孝行のギターの語りと 絶妙なマジックの披露があり 参加の皆様から絶大な拍手を頂戴しました。中澤プロには ボランティアグループ孝進会を通して 支援の会の活動に 深いご理解ご協力をいただいております。

さて いま 終末期医療の中で“在宅”がいろいろと取り沙汰されております。しかし ご本人が在宅を希望されても 看護する家族の方や環境等の諸問題を考えると なかなか思うようにはいきません。また 病院等の施設にしてもご本人の満足できる対応があるのかと問われると これまた 人それぞれに評価も変わってきます。

一市民として欲しいのは その人の都合に合わせて 在宅でも施設でも 選択させてもらえればこんな有り難いことはありません。そして限りあるいのちを 自分らしく納得のいくような思いで過ごすことができれば これが最高の人生であると思います。

このことを私たちは市民レベルで考えて しかも具体的に患者のいのちに寄り添う終末期医療を実践している玉穂ふれあい診療所を支援していこうというものです。

ところで このたび 救急車を購入して医療法人どちペインクリニックへ贈ることにしました。従来の救急車はあまりにも型が古すぎて 現実には対応しきれないところがありました。患者様や診療所の利用者様が緊急時の入退院等に 有意義の活用されるよう期待します。また 購入に際しまして皆様方のご理解とご支援を改めてお願いできればと思っております。

これからも医療法人どちペインクリニックの人間のいのちに寄り添う医療哲学をさらに深めるために 支援の活動をより一層推し進めてまいりたいと思いますので 格段のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

医療法人どちペインクリニックのホスピスを支援する市民の会

吉田 永正



2013 定期総会記念講演

ピンチがチャンス！ ボランティアは自分のため

講師 プロゴルファー

ボランティアグループ孝進会 代表

中澤 孝次 氏

今年の記念講演は、マジックあり・歌ありで、楽しく聴く事ができました。

中澤プロのお名前は、テレビやラジオなどで存じており、今回お話しをお伺いして、難民にミルクを届けるボランティア活動を10年以上続けておられることを知り、スゴイ！と感動しました。

キャディーの仕事をとおしてプロゴルファーを目指したこと、その影には、お母様への強い思いを感じました。「苦勞してきた母へ心配をかけたくない、楽をさせてあげたい」という優しい気持ちが込められておりました。

また、人生の中には幾つかの転換期がある。その時にどう考えるか・・・これこそがチャンスなのだ

♪発想の転換・考え方一つで人生が変わっていくということ。ピンチに陥るとなかなか前に進めないが、チャンスと思えば気持ちが前に進めるのではないか、何かあったら、ピンチがチャンスと思い前に進んで行こうと思いました。

中田美千代

佐野いづ子



マジックもプロ.....あ～～
お～～という声。

歌もプロ.....甘い歌声。弾き語りもすごかった。

どちペインクリニックのホスピスを支援する市民の会 救急車が新しくなりました！

寄贈 医療法人どちペインクリニックの
ホスピスを支援する市民の会



DPCホスピス支援の会ではどちペインクリニックに救急車を寄贈することになりました。
ただいま、救急車購入費用に充当する募金活動を行っております。
これからも、どちペインクリニックがよりよい医療を提供できるようご協力よろしくお願
いいたします。

新入職員紹介



柳沢 めぐみ
病棟アシスタント



洲貝 博之
病棟アシスタント



堺 怜美
病棟看護師



宮下 良美
理学療法士



村松 清三
施設・車両



上野 美穂
訪問看護師



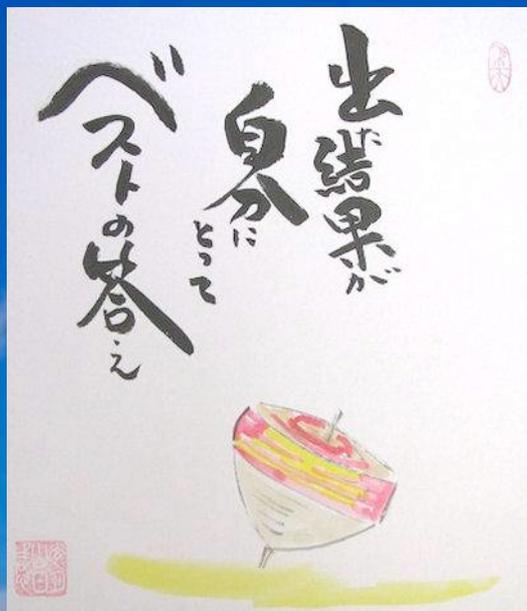
五味 亜紀子
栄養士

2014年度 ホスピスカレンダー紹介

医療法人どちペインクリニックにかかわる大勢の方々の幸せを願いながら、ボランティアの皆さん・仕事を終えて疲れていてもにこにこしている医療スタッフの方々・統括師長の講演に感動した中学生のみなさん・入院中の患者さん・付き添い

表紙

カレンダーの表紙は大晦日の晩まで貼っておきます。そうすると これはこの1年振り返っての反省！ 本当に出逢いを大切にして自分の宝物にしたんでしょうか。また自分の存在が相手の宝物になったんでしょうか。さあ そしてこれが来年に向けての自分の心に秘めた目標になれば 人との関係は素晴らしいものになるでしょう。そうすると 生きる楽しさや自信がおのずとついてくるはずです。



1月・2月

コマの材質を選んで丁寧に作る ひももしっかり巻く 思い切って投げる さあ その結果は？ たとえどのような結果が出ててもそれが自分にとっての最高の答え。ほかに何もありません。仏教では「縁起の法」を説きます。“なるようにしてなる”んですから 何ら不思議はありません。出た結果をとやかく言うのではなく 出た結果を大切に しかも生かせばきっと道は開けます。

3月・4月

人間の世の中は自分と自分以外の方々との出逢い。すなわちコミュニケーション 社会です。他人との付き合いで欲しいのは 心から出る笑顔。笑顔は相手の心を和ませてくれます。暖かい人間味が感じられます。笑顔さえあればたとえ辛いことでも 苦しいことでも 何とか乗り切つていくことができるでしょう。人との調和や友好もつくられるでしょう。

明るい楽しい価値のある社会をつくるためにも。



5月・6月

いのち輝くおいしい野菜を手にしたのなら いのちの過程には順序があります。素晴らしいものを手にするには 手入れも必要。面倒見ることも大事。もちろんいい種が そして撒く前にしっかりと土を耕す。その前に草を取る。当たり前なことだけど 結果を得るための道筋をきちんと理解すれば すべて素晴らしいものが手に入るという事。そのためには毎日の努力！



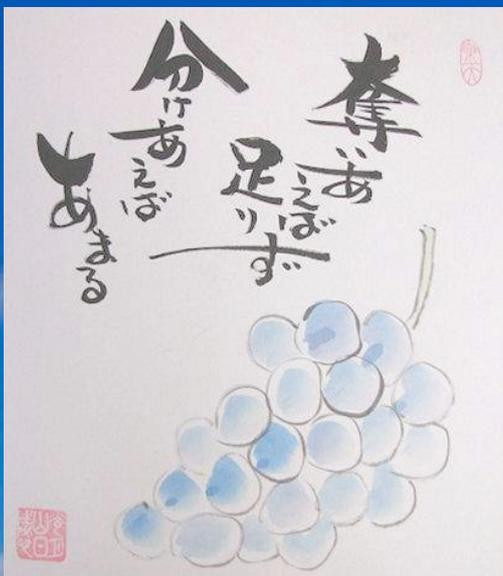
7月・8月

夏の暑い時 ひまわりは精一杯咲きます。とてもきれい。それは無心で咲いているから。しかも自分がひまわりであるという事に誇りと自信を持っています。責任があります。だから たとえ暑くて辛くても その苦難を乗り越えてがんばりさえすれば美しく咲きます。我々人間も 自分が自分であるという誇りのもとに。



9月・10

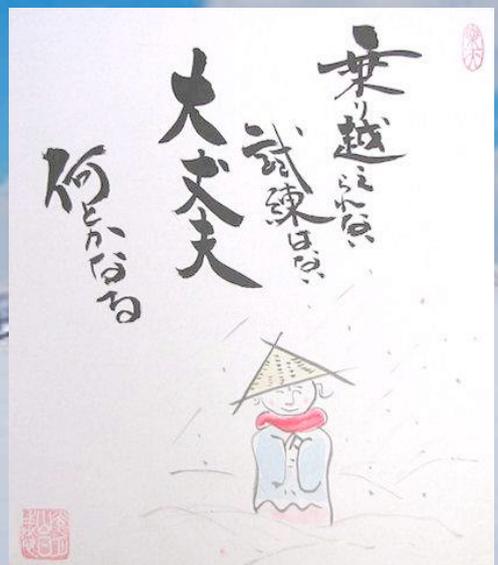
すべてのものに数限りがある。無限大なんて言うものは存在しません。それが欲が絡むとどういいうわけか奪い合いが始まる。それじゃあ動物と同じ。人間は慈しみの心や思いやりという心をもって他人に接するので 納得のいく分け方をしていくと必ずあまり 他の方へもプレゼントすることができます。そこに生まれる感謝の心が連鎖してすべてを明るくしすべての価値を高めていきます。



11月・12

生きていくうえで いろいろな壁に突き当たります。時には崖淵に立たされます。下手すれば落とし穴もあります。辛いことだらけ 厳しいことだらけ。

でも ちょっと工夫してみたら ちょっと 今以上に頑張ってみたら。すべてが試練です。試練は乗り越えるためのハードルです。自分さえその気で頑張れば何とかかなる。すべてはあなたの努力次第です。誰もが経験することです。



理事長あいさつ

2013年をふりかえって

雑誌『文藝春秋』12月号に「うらやましい死に方2013」の特集が組まれています。いずれも穏やかな最期、家族との静かな交流が綴られています。日本の社会が成熟してきた現われでしょうか。あるいは、それだけ高齢化社会になってきたのかもしれませんが。「死は恐ろしいもの、絶対に避けたいもの」から、「死は誰にも訪れるものであり、穏やかに迎えたいもの」へと、日本の意識が変わってきているのだと思われまます。

私たちは1992年に「どちペインクリニック」を開業し在宅医療に携わってききましたが、在宅医療のゴールは「死」です。がん患者の緩和ケアであれ、認知症患者の老衰であれ、その行き着く先は「死」ということです。私たちは在宅で、施設で、そして入院で、本人も家族も納得できる最期を迎えられるように努力してきました。

こうした医療は、多くの人々の協力協働がないとできません。家族を中心に診療所（医療機関）と看護、介護、ケアマネージャー、薬局、医療機器、介護用品など、多くの人々が協力し合って初めて「納得できる最期」をつくることができます。いま、日本中でそうしたシステムをつくるように国、県、医師会、歯科医師会、看護協会等々の協力と努力がはじまっています。

20年をこえる私たち医療法人どちペインクリニックの医療が日本の医療の先駆けだったと胸を張って言えます。これからもより一層の努力を重ねますので、皆さまのご支援ご協力を宜しくお願い致します。

2013年12月

医療法人どちペインクリニック 理事長

土地邦考



第12回 DPCホスピス祭り 開催日決定！

2014年5月25日（日）

医療法人どちペインクリニックのホームページも絶賛更新中！

URL：<http://www.dpc-hos.or.jp>

編集後記

寒気がひとしお身にしみる頃となりました。診療所の愛猫ピリも窓際での日向ぼっこに日々余念がありません。過日の記念講演では、中澤孝次プロの優しいギターの音色や楽しいマジック、愛あふれる語りに癒されました。忙しく過ごす毎日ですが、多くの皆さんとこんな風に暖かいひとときが過ごせて幸せです。



「ゆっくりねるし」
かもがわ出版
☆好評発売中☆

DPCホスピス支援の会だより
つくしんぼ～26号～

山梨県中央市成島2439-1
玉穂ふれあい診療所内
TEL 055-278-5670
<http://www.dpc-hos.or.jp>

医療法人どちペインクリニックの
ホスピスを支援する市民の会
代表 吉田永正

編集委員

佐野利恵子 中田美千代 伊藤和也
佐野しげ子 小澤敏幸